



第一地区住民自治協議会

住民自治協議会だより

第一地区は 茂菅・新諏訪町・西長野・桜枝町・狐池・花咲町・往生地・横沢町・西町上・西町南・上西之門町・西之門町
栄町・立町・若松町・旭町・長門町の17町で、令和3年12月現在世帯数2,809戸、人口5,537名（市統計）です。

発行：第一地区住民自治協議会

「安全安心な生活を」

第一地区住民自治協議会 会長 小池公雄

新年明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染の拡大とその感染防止による生活様式の変化、気候変動による自然災害、原油高騰の影響等の報道が繰り返され、決して明るい年とは言えなかったと思います。今年こそ、昨年末からの変異オミクロン株の感染も終息し、穏やかで展望のもてる日常生活に戻れることを願っています。

そして、第一地区住民自治協議会としては「互助・共助による誇れる地域づくりで、住民が自分らしく安全安心な生活ができるように」さらに取り組んでいきたいと思ひます。

そこで、今年第一地区に関係する大きな出来事5点を取り上げてみます。

①「善光寺御開帳」が新型コロナウイルス対策に應じながら4月3日～6月29日の3ヶ月間行われます。県内外から大勢の参拝者が訪れます。新型コロナウイルス対策や交通渋滞・規制等の課題がありますが、お迎えする心を大切にしたいと思ひます。



②ハザードマップの「しし沢土石流」は、往生地・横沢・狐池・花咲町・桜枝町・西長野町等に被害が生じる可能性があるとして指摘されています。その根拠の説明を受け、砂防ダムのような防災施設を市・県の行政機関に要請していきたいと思ひます。

③「旭山崩落対策事業」を毎年お願いしています。中部森林管理局からは「一昨年から5回発注しましたが、自然災害の多発の折、建設業者がまだ決定されていません。今年中には事業が開始されるよう頑張ります」との回答を受けています。



④「信州大学教育学部と地域の連携事業」として、今までも加茂小学校・西部中学校の教育支援等を受けています。今後も地域住民との交流事業等での連携協力を依頼していきたいと思ひます。



⑤「信大教育学部～セブンイレブン東までの西長野町国道406号整備」については、長野建設事務所から「西長野町や通学路関係者等からの強い要請があり、本年度中に測量をして、具体的なルート住民説明会を開催したい」と説明を受けています。



本年も第一地区住民自治協議会の諸活動にご協力とご支援をお願い申し上げます。

安全防災部会 「避難所自主開設訓練」 10月17日 加茂小体育館 70名参加

令和3年度の防災避難訓練は、行政による避難所開設がされる前に、自主的に避難所を開設することを想定し実施しました。加茂小学校内に設置させて頂いた「第一地区防災倉庫」内の防災備品と長野市危機管理防災課持参の段ボールベット等を体育館とその周辺に設置し、設置手順や作動確認を行いました。また、一部の地区の災害時要援護者とその支援担当者の方々に避難を体験して頂きました。参加者からは、担当した装備品の操作手順が理解できて良かったがすべての装備品の体験が必要、車いすでの避難に体育館への段差対策が必要、等々の課題が出されました。今後の訓練ならびに防災備品の拡充に活かしたいと考えます。



防災倉庫から備品搬出



受付用にテント設営



発電機にガソリン入れ始動



照明機器の組み立て



ブルーシート1枚が一家族の目安



★段ボールベットの組み立て



★多目的利用のテント



★多目的利用のテント



★ファミリールームで間仕切り (★印のものは市が避難所開設時に搬入)



信大の講師と危機管理防災課から防災への課題を聴講

健康福祉部会 松代焼陶芸教室で湯呑み茶碗づくりを体験

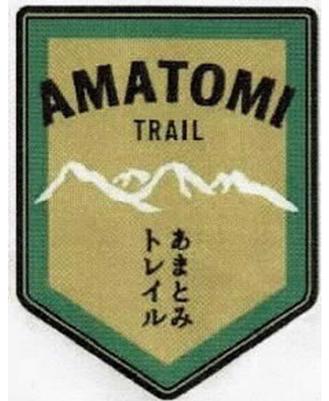
12月3日「松代陶苑」さんで陶芸体験をさせて頂きました。参加者はみんな陶芸初体験ということで、初歩の「型起こし」という方法で湯呑みもしくは茶碗を作成しました。この後、乾燥、素焼き、釉掛け、本焼きをして頂き作品の完成は約2か月後ということ。どんな湯呑みやお茶碗ができるのか楽しみです。参加者からは「楽しい、また来年もぜひ作りたい」と大好評でした。



特集 あまとみトレイルの紹介

幅約 10cm 高さ 150cm の焦げ茶色したアクリル板の道標が、地図に示した青印の位置、善光寺・往生地・新諏訪・茂菅の各地点に立てられ始めました。この道標は、長野駅から出発し、中央通り→善光寺→往生地→諏訪神社→瓜割清水→境沢→頼朝山山腹→静松寺→芋井たたら→一の鳥居→戸隠宝光社→中社→奥社→戸隠牧場→信濃町→新潟県→野尻湖→斑尾に立てられます。

道標の上部には「あまとみトレイル」のシンボルマーク（右のマーク）が描かれ、妙高戸隠連山国立公園の火山や非火山の個性ある山並みをギュッと凝縮したイメージで表しています。ある特定の場所から見た景色ではなく、どこからでもたくさんの山々が見られるというイメージです。「あまとみ」は、妙高戸隠連山国立公園や周囲を代表する地名の雨飾（あまかざり、小谷村）・斑尾・戸隠・妙高、それぞれの名称の頭文字を1文字ずつとり、「あまとみ」と名付けられています。この「あまとみ」の名所を歩いて回るハイキングのルート「トレイル」といい、昨年10月23日に開通イベントが行われました。



現在の「あまとみトレイル」は長野駅、斑尾山を起終点とし、善光寺、戸隠、黒姫、妙高笹ヶ峰や野尻湖などの名所を結ぶ全長約 86 km のルートが決められています。歩行のコースですから、車道は少なく、山道や歴史ある古道の多いコースとなっています。さらには、妙高笹ヶ峰から小谷温泉、糸魚川方面をつなぐルートも検討されています。「あまとみトレイル」がある妙高戸隠連山国立公園は、浅間山・志賀高原～妙高・戸隠の群馬・長野・新潟県までの広範囲に及んでいた上信越国立公園から、平成 27 年 3 月に分離・指定されました。

この指定を受けて、環境省や長野・新潟県や長野市・信濃町等の6市町村の関係自治体、民間団体、地域住民等によって組織された妙高戸隠連山国立公園連絡協議会が、「日本一の大地の営みとそれに寄り添う地域の暮らしの学び舎」をめざし、シンボルマークやルートや名称等を設立してきています。

今日、日本百名山の妙高山・火打焼山・雨飾山・高妻山や信仰の戸隠山・飯縄山等があり、多くの人々が登山したり訪れたりしています。また、夏の避暑・キャンプ・レイクスポーツや冬のスキー・スノーボード、春の芽吹き・秋の紅葉時のハイキング、バードウォッチング・生きもの観察、美味しい食べ物、伝統工芸や産業等、魅力あふれる観光地となっています。また、温泉も豊富で湯治の小谷、妙高山の麓に七つの温泉、五つの泉質、三つ湯色等、バラエティに富んだ温泉郷もあります。

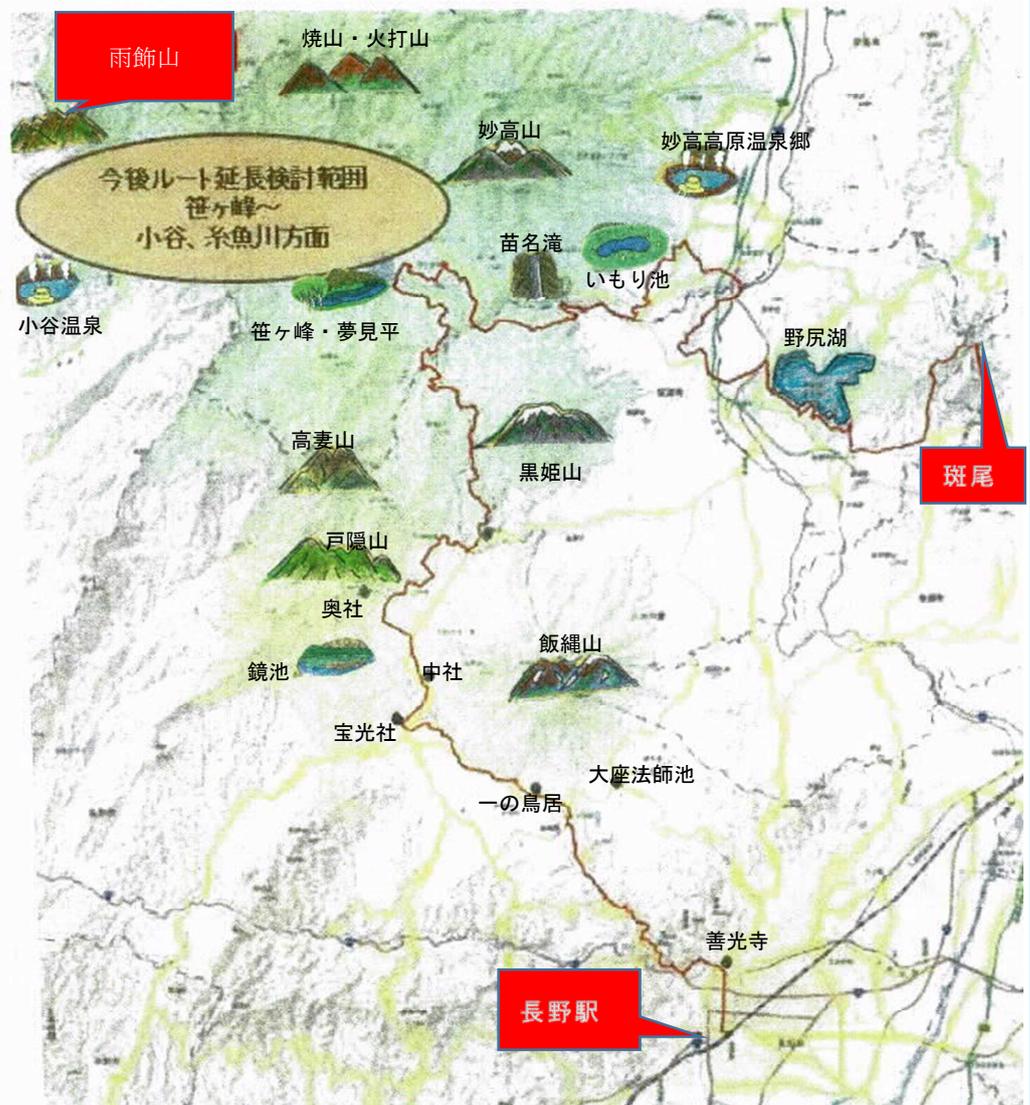
長い距離を歩いて回るロングトレイル

は欧米で盛んであり、東北地方の海岸を回る海岸ロングトレイルも報道されています。あまとみトレイルは、86 kmの長距離のために、数日かけて完歩する人、分割して回る人、地域毎や登山だけする人等いろいろなパターンが考えられます。

すでにこのトレイルを歩行する人達が第一地区内でも見受けられます。私達住民に挨拶したり道を尋ねたりすることがあると考えられます。その際は、心のこもった対応をお願い致します。

また、自然と歴史を求めて、あまとみトレイルに挑戦される方は、旭町の長野第一合同庁舎内の環境省自然環境事務所もしくは環境省戸隠自然保護官事務所に問い合わせるか、インターネットで「あまとみトレイル」と検索して詳細なコースを参考にされることをお勧めします。

あまとみトレイル 一部開通予定ルート(赤線)



◆第一地区住民自治協議会事務局

〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町 2201 番地 20 権堂イーストプラザ ND1 階

電話：262-1217 (FAX 兼)

E-mail: dai1@clock.ocn.ne.jp